

10月19日

2016年
(平成28年)

水曜日

第18695号(日刊)

土・日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

新社長



まず足元見直し各支店をさらに強化

前の気力と行動力で前 勝山社長の転機とな 業績となるまで成長し
社長と社員の期待に応 ったのは、95年に開設 した鉄スクラッパー
えていく。 現在の同社は関東圏
社長交代に伴い、役ト「市川支店」の撤退 の売り上げが関西を上
員体制も一新した。平 問題。鉄鋼不況に苦し 回る。勝山社長だけで
均年齢は10歳若返っ む中、98年には「市川 なく、扶和メタルにと
た。また、黒川前社長 支店を閉鎖し、関西圏 っても大きなターニン
から注文されたのはに経営資源を集中す クポイントとなった出
「10年先を見据えるこ る」という案が決まり 来事だった。「いま、

意気込みだけは負けない

「大きな重責。身の
引き締まる思いだ。だ
が、自信はある。意気
込みだけは誰にも負け
ない」と抱

黒川友二

扶和メタル 勝山 正明氏

前社長(現相談役)はと「つねに職場を縮 かけていた。勝山氏は
専務時代を含め、40年 麗にしておくこと」当時役員ではなかった
以上実質的な経営トッ プとして鉄スクラップと」だけ。黒川氏は の可否を決める役員会
業界大手の同社をかじ 「古いルールを行くの に出席。せめてあと1
取りしてきた。「期待 ではなく、新しいレー 年はやらせてほしい」
に心えられるよう、1 ルを敷くように」とも と継続を嘆願し、支店
00年以上歴史に恥じ 話しており、勝山新社 継続が決まった。その
ないよう」と重責を感 長体制の下、扶和メタ 後、赤字だった市川支
じながらも、「やりが ルは新たな道を進んで 店の業績は回復。02年 たい」とし、いまの基
いがある」とし、持ち いく。 には全支店でトップの 盤を固めながら、新た

その当時を思い返して いる。やる気だけは負 けないようにしたい。 今後の投資案につい 今後は投資案につい てる。また、これも実 施する。ただ、これまで 国内外で拡大路線を統 けてきたので、まずは 足元を見つめ直し、各 支店をなお一層強くし たい」とし、いまの基 盤を固めながら、新た

略歴

勝山 正明氏(か
つやま・まこと)86
年扶和メタル入社。
95年市川支店長、09
年専務。65年12月生
まれ、大阪市出身。

(宇尾野 宏之)